

## 広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

## ■コメント

## 1 新型コロナウイルス感染症

第26週に1,341件の報告があり、前週の約1.2倍に増加しました。新規感染者数は全国的に増加傾向となっており、一部地域では急増もみられます。また、オミクロン株の新たな系統であるBA.5が本市でも確認されました。今後、置き換わりが進むことで、感染者数が増加する可能性があり注意が必要です。

マスク着用、3密回避、換気などの感染対策を徹底し、再拡大を防ぎましょう。

## 2 RSウイルス感染症

定点当たり1.75人の報告があり、大きく増加しました。生後数ヶ月までの乳児が感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

## 3 手足口病

定点当たり2.25人と、前週の約1.5倍に増加しました。

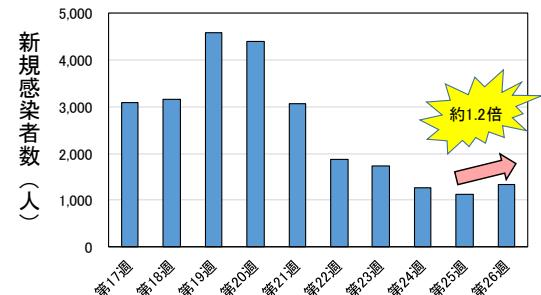
## 4 日本紅斑熱

今年初めての報告が1件ありました。(次ページ参照)

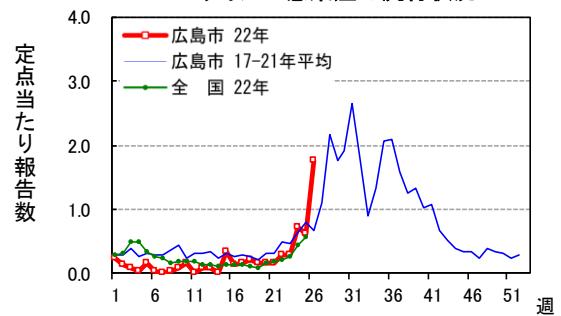
## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定點当たり	平過去(～5年)間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定點当たり	平過去(～5年)間	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	-		眼科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.20	
	咽頭結膜熱	13	0.54	0.53			RSウイルス感染症	42	1.75	0.68	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.80			急性出血性結膜炎	-	-	0.15	
	感染性胃腸炎	143	5.96	4.28	□		流行性角結膜炎	2	0.25	0.70	
	水痘	-	-	0.23			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	54	2.25	3.95	↑		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	突発性発しん	8	0.33	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.74			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



RSウイルス感染症の流行状況



報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均  
(定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	56	60歳代、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	10歳代・O157、40歳代・O157
4	日本紅斑熱	1	1	70歳代・市外
4	レジオネラ症	2	17	50歳代、70歳代
5	梅毒	8	152	20歳代・4人、30歳代・2人、50歳代・2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	6	50歳代
5	百日咳	1	4	80歳代

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	A群咽頭結膜熱	球菌溶血性咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSVワイルス	感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	(口コロナウイルス)
報告数	第22週	-	13	10	161	2	3	1	8	2	3	7	-	2	1	-	-	-	-	
	第23週	-	7	12	159	2	4	-	6	2	-	7	-	3	-	-	-	-	-	
	第24週	-	10	12	143	3	36	1	8	5	-	17	-	5	-	-	-	-	-	
	第25週	-	8	3	141	2	35	1	9	11	-	15	-	-	-	-	-	-	-	
	第26週	-	13	12	143	-	54	-	8	8	1	42	-	2	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第22週	-	0.54	0.42	6.71	0.08	0.13	0.04	0.33	0.08	0.13	0.29	-	0.25	0.14	-	-	-	
	広島市	第23週	-	0.29	0.50	6.63	0.08	0.17	-	0.25	0.08	-	0.29	-	0.38	-	-	-	-	
	広島市	第24週	-	0.42	0.50	5.96	0.13	1.50	0.04	0.33	0.21	-	0.71	-	0.63	-	-	-	-	
	広島市	第25週	-	0.33	0.13	5.88	0.08	1.46	0.04	0.38	0.46	-	0.63	-	-	-	-	-	-	
	広島市	第26週	-	0.54	0.50	5.96	-	2.25	-	0.33	0.33	0.04	1.75	-	0.25	-	-	-	-	
全国		第24週	-	0.41	0.37	5.72	0.08	0.36	0.01	0.38	0.08	0.03	0.43	0.02	0.19	0.01	0.02	0.01	-	-
		第25週	-	0.43	0.35	5.31	0.08	0.60	0.01	0.40	0.14	0.04	0.58	-	0.18	0.02	0.03	0.02	-	-

## ■広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第26週(6月27日～7月3日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	合計
209	233	180	219	209	133	73	48	37	-	1,341

【累計報告数(7月3日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	合計
13,260	13,515	15,755	14,430	13,843	8,304	4,382	3,264	2,921	67	89,741

「風邪かな？」と感じたら、かかりつけ医や  
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566に連絡・相談しましょう。  
全日24時間対応

\* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

## 【参考】ダニ類が媒介する感染症に注意しましょう！～日本紅斑熱～

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチャを保有するマダニに咬まれることで感染します。2～8日の潜伏期間を経て発症し、主な症状は、発熱、発しんで、ダニの刺し口がみられることもあります。患者は、マダニの活動が活発になる春から秋にかけて多く発生し、近年増加傾向にあります。

山や草むらに入るときは、長袖、長ズボンを着るなど、肌を露出しないように注意しましょう。また、重症化すると死に至ることもあるので、マダニに咬まれた後に発熱等の症状がある場合は、直ちに医療機関を受診しましょう。

### 【参考】

日本紅斑熱について(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522_00001.html)

日本紅斑熱 1999～2019年(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/jsf-m/jsf-iasrtpc/9809-486t.html>



フタゲチマダニ  
国立感染症研究所  
昆蟲医学部

山や草むらに入る  
ときの服装

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575FAX (082) 277-5666E-Mail:[seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)